

千田憲 世次 國文學者。明治二十一年一月十五日徳島縣生れ、昭和四十九年十一月二十三日歿（八八九—一九七〇）。第五高等學校を経て、明治四十五年東京帝國大學文科大學國文學科卒。大学院に進み、井荻矢一の下の「萬葉集」を研鑽。まことに都省文藝会員より「萬葉集」の定本編纂を依頼せられる。神宮皇學館教授、京都女子大學教授等歴任。短歌、俳句も能くした。號南葉人。

『校本萬葉集』全十卷（佐佐木信綱・橋本達吉・武田祐吉・久松潜一共編、昭和八年六月五日—七年五月—二十日岩波書店）、『祝詞・壽詞』（昭和十年一月十五日岩波書店）『岩波文庫』（等々）編輯、その外歌集を含む隨筆集『松籬居雜筆』（昭和二十四年九月—二十七日三重・千田憲先生の古稀を祝ふ会）があり、雑誌『女子大國文』第七十八號（昭和五十年十一月）『京都女子大學國文學会』は、千田憲教授追悼特號。

